

平成20年度(アジア人財資金構想)高度専門留學生育成事業 「会津発グローバル IT リーダー育成プログラム『国際 IT 日新館』」の概要

このたび、会津大学が提案した「会津発グローバル IT リーダー育成プログラム『国際 IT 日新館』」が、「平成20年度 アジア人財資金構想・高度専門留學生育成事業」に採択されました。

これは、本学の教員のうち約4割を海外出身の教員が占めていること、大学院の授業を英語で行なっていることなどの特徴を活かしつつ実施する、地元会津のベンチャー企業と国内有力企業と連携した、機能安全に関する要望に対応できる人材育成、会津の文化と企業の風土を融合したビジネス日本語教育などの、全国にない新しい取組みが評価されたものです。

この新しいプログラムでは、大学院博士前期課程にアジア留学生10名を新たに国費留学生として迎え入れ、専門教育の他、英語だけでなく、日本語での充実した教育プログラムを実施することにより、Trilingualな語学力(英語、日本語、母国語)を身に付けることができ、日本企業、海外に点在する日系企業やグローバル企業でも活躍できる人材を育成します。

<アジア人財資金構想の概要>

「アジア人財資金構想」とは、平成19年から経済産業省と文部科学省が、我が国企業に就職意志のある、能力・意欲の高いアジア等の留学生に対し、奨学金や人材育成から就職支援までの一連の事業を通じ、産業界で活躍する専門イノベーション人材の育成を促進するために、①高度専門留學生育成事業と②高度実践留學生育成事業を柱として実施している事業です。

このうち、本学が採択を受けた高度専門留學生育成事業は、アジア人財の優れた知性と能力をアジアの未来のために活かすことを目的に、日本企業及び日系企業に就職意志のある、主として新しく来日する留学生を対象に、産業界と大学が一体となった産学連携のコンソーシアムにおいて、留学生の募集・選抜から専門教育・日本語教育、就職活動支援までの人材育成プログラムを一貫して行う事業です。産学連携専門教育プログラム、ビジネス日本語教育などの教育プログラムを実施するもので、日本語教育から就職支援まで、充実した教育プログラムで応えようとするものです。

1 産学連携専門教育プログラム(高度専門留學生育成事業のみ)

産業界が求めるスキル・ノウハウ等を体系化した専門的なプログラムを基本に、企業の技術者による講義や現場における実習などを含む実践的な専門教育を大学で実施します。

2 ビジネス日本語教育

高度な日本語運用能力をベースに、企業へ就職後、スムーズなコミュニケーションや難度の高いディスカッションを可能とする日本語教育を行います。

3 日本ビジネス教育

日本の企業文化に対する理解を促進するため、日本企業の仕事の進め方、人材育成の考え方や意義などに関するビジネス教育も実施します。

4 社会人基礎力の養成

情報の収集、分析、集約能力をはじめ、チームワーク力、協調性、プレゼンテーションや、ディスカッション能力、さらにビジネススキルやマナーなど社会人としての様々な行動能力を養成します。

5 インターンシップ

コンソーシアム参加企業のニーズと留学生のニーズをマッチングさせて、実践的能力を効率的に習得するインターンシップを支援します。

6 就職支援

就職活動のカウンセリング、企業情報提供、就職ガイダンスなどを実施するとともに、企業に対しては受入れ環境の整備を支援するセミナーなどを開催します。

<本学が実施する「会津発グローバル IT リーダー育成プログラム『国際 IT 日新館』>

会津発グローバル IT リーダー育成プログラム「国際 IT 日新館」では、アジアからの留学生を、会津大学が地元会津のベンチャー企業や国内有力企業と連携しながら、「会津の教え、企業の教え」を会得した地域社会へ貢献し国際的にも通用する会津発のグローバル IT リーダーとして育成するものです。

具体的には、主に安全な組込みシステム開発技術分野の教育プログラムを実施し、安心・安全を考慮した組込みシステム開発のための、日本文化・地域（会津）文化と企業風土に対する深い理解を持った、多国籍開発チームにおける次世代のグローバルな IT リーダーとして、a) 機能安全に基づく組込みソフトウェア開発スキル、b) 高い文化理解力を基礎とした日本ビジネススキル、c) 日本語、英語、母国語（中国語等）を使いこなす Trilingual スキルを身につけ、日本企業及び日系企業の国際競争力の向上に貢献できる人材の育成をイメージしています。

<募集人数>

◆ 平成20年度：博士前期課程 10人

<出願者の条件・制約など>

会津大学大学院の博士前期課程プログラムの通常の出願資格に加えて以下の条件を満たすこと

- 1) 博士前期課程終了後、日本・日系企業への就職を強く希望していること
- 2) 高い学力レベル (GPA3.2 以上) であること
- 3) ある程度、日本語を習得していること。(日本語能力試験 4 級*相当)。
- 4) 実施する日本語教育プログラムやインターンシッププログラム等を含めた「アジア人財資金構想」で指定された全プログラムに必ず参加すること。
- 5) 2008 年 10 月に「留学ビザ」で来日 (または在日) し、大学院博士前期課程プログラムに博士前期課程一年生として入学することが可能なこと。

※ 日本語能力試験 4 級：初歩的な文法・漢字 (100 字程度)・語彙 (800 語程度)を習得し、簡単な会話ができ、平易な文又は短い文章が読み書きできる能力 (日本語を 150 時間程度学習したレベル)

＜学生への支援内容＞

本プログラムへ選抜された学生は、全員国費外国人留学生*の候補として文部科学省へ推薦いたします。

ただし、文部科学省の国費留学生の資格審査を満たさなければなりません。

文部科学省の審査により、国費留学生として採用された場合に、奨学金が規定により支給されます。

国費留学生として認定できなかった学生は、本プログラムの自由参加は可能ですが、奨学金の支援はありません。

※ 国費留学生としての資格は、対象者範囲、学習成績 (学業成績係数が 2.0 以上)、年齢、国籍、健康状態等に関するものですが、文部科学省から平成 2008 年 6 月に公表予定です。

＜その他＞

母国語教員による生活アドバイザー制度や日本人学生による世話人制度により、日本に溶け込んだ留学生生活を体験することができます。

会津大学には、日本での学位を取得したアジア出身教員が多数います。

それらの教員の多くは、日本企業や大学での長期勤務を経験しており、それらの教員を通じて、日本語をはじめとした多言語を習得・活用するコツや日本で働くためのノウハウ、留意点などを生きた知識として伝えることができます。

また、それらの教員が中心となり、生活アドバイザーとして個々の留学生の状況に応じた指導を行い、様々なイベントを通して充実した留学生生活を送ることができます。